

**1. 地域経済と課題**

- (1) 洋上風力発電の台湾の先進地視察に唐津商工会議所からも参加した。台湾では国家プロジェクト的に進められており、漁民・住民との交渉も地方政府と協力して国が行っているとのことであった。唐津沖のプロジェクトが今年も県外の水産関係者との調整が不十分ということで「有望区域」にならなかった。
- (2) ハローワーク唐津の新規学卒者の初任給情報。唐津で事例が多い従業員 29 人以下の事業所の大学卒を見ると唐津市 215 千円、佐賀県 216 千円、全国 234 千円である。大学を卒業しても唐津に戻って来ない理由の一つか。
- (3) 最低賃金が出揃った。佐賀県は 74 円アップの 1,030 円である。実施は 11 月 21 日から。政府は 2020 年代に全国平均 1,500 円を目指しているが、達成のためには今後毎年 90 円以上上げないといけない。勤労者の要求と事業者の経営とのギャップをどう埋めるかが問題である。生産性向上、海外との競争など課題は山積している。
- また、今年は実施日が例えば秋田県は令和 8 年 3 月 31 日となるなど制度上の課題もあらわになった。
- (4) 9 月 22 日は、1985 年のプラザ合意から 40 年である。この間の GDP を見ると、アメリカは 7 倍、中国は 62 倍の増加に比べ、日本は 3 倍にしか増加していない。2023 年にドイツに抜かれ、今年インドに抜かれる見込みである。プラザ合意の当事者である行天豊雄さん（94 歳）に言わせれば、新しい産業への投資を怠ってきたのが一因であると厳しく指摘している。



(NHK2025. 9. 22 より)

2. 経営支援から見える地域経済と課題

- (1) 令和 7 年度第 2 四半期(令和 7 年 7~9 月)は、巡回訪問 220 件・窓口対応 353 件の経営支援を行った。

3. LOBO 調査(早期景気観測) & 中小企業景況調査**(1) LOBO 調査【令和 7 年 10 月調査】**

業況 DI は、3 か月連続で足踏み続く。先行きは、イベント増加への期待から上向き基調。

- 全産業合計の業況 DI は、▲18.9 (前月比▲0.3 ポイント)

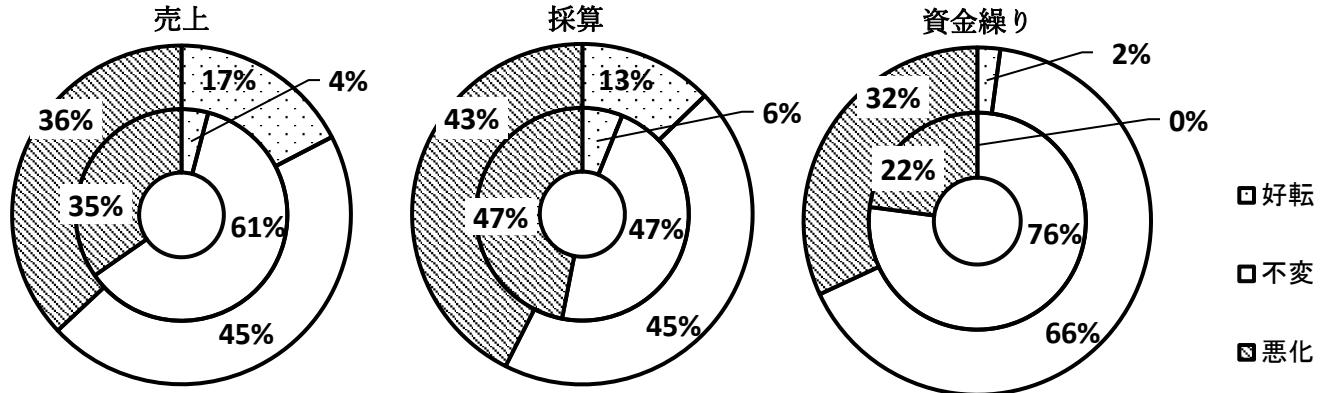
全国：好調な観光需要を背景に、サービス業では、旅館や観光施設で客数が増加したほか、製造業では、食料品関係で引き合いが増加し、改善した。一方、建設業では、資材価格の高騰や民間工事の受注不振などから、悪化した。また、小売業では、生活必需品の値上げに伴う節約志向の高まりから、百貨店・総合スーパー等で売上が減少し、悪化した。高水準での賃上げや暑さの緩和に伴う外出機会の増加により、消費マインドに持ち直しの兆しがみられている。一方、仕入価格に加え、一部地域で今月から最低賃金が引き上げられるなど労務費も高騰しており、業況は 3 か月連続でほぼ横ばい（前月比±0.9 ポイント以内の推移）となった。

九州：業況 DI はほぼ横ばい。卸売業では、堅調な設備投資の影響で製造業からの引き合いが増加した機械器具関係などで売上・採算が改善した。一方、サービス業では、消費者の節約志向の高まりにより、生活サービス関係などで売上・採算が悪化した。一部の飲食店からは、大手飲料メーカーでのサイバー攻撃被害の影響で、酒類の仕入量に制限がかけられており、大規模な宴会の予約を受け付けられない状況である、という声が聞かれた。

(2) 中小企業景況調査【令和7(2025)年7月～9月調査】

円グラフの外側：前年同期（2024年7～9月）と比べた今期（2025年7～9月）の状況

内側：前々年同期（2023年7～9月）と比べた前年同期（2024年7～9月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：需要の停滞

小売業：消費者ニーズの変化への対応、需要の停滞

建設業：従業員の確保難

卸売業：店舗・倉庫の狭隘・老朽化

サービス業：材料等仕入単価の上昇

4. 唐津の街のトピックス

- (1) 洋上風力発電に関する、北九州上空からわかりやすい写真が撮れた。羽田→福岡 2025.7.26。ワンチャンスをものに出来た。
- (2) 東京商工会議所「渋沢記念事業プロジェクトチーム」が新札発行1周年を機に来所された。新札発行からほぼ1年間の切り替えの割合は、約30%で、前回の時の約60%の半分である。これはキャッシュレス化が進み日本銀行へのお札の還流が少ないためであろう。
- (3) 大手旅行雑誌「コンデナスト・トラベラー」（米国版、72万部）で「最も魅力的な国」に日本が3年連続1位に選出。2位はギリシャ、3位はポルトガル。英国版（7万部）では、イタリア、カタール、日本の順。
- (4) 唐津の食がメディアによく取り上げられる。①婦人画報11月号では「日本のガストロノミー」120に「プレサーデュ」が編集部推薦「唐津の特長を最大限に斬新なメニュー」で、②『弓削聞平の福岡外食三昧』（10/21）では「やっと行けた唐津の「大しげ」。2か月に一度予約だけど、開始2～3日で埋まってしまう。「旧藤田家店舗兼住宅」とある。
- (5) 唐津のPRを民間が担っています。①ぴ～ぷる放送『おまつりニッポン 唐津くんち』がJALの国際線個人画面及び国内線WiFi個人画面で視聴可、②「JR九州企業CM」“九州の元気を世界へ”（90秒）は半分以上を唐津が占めている。[【JR九州企業CM】九州の元気を、世界へ（90秒）](#)、③澤田健太さんのBar POTSUNTOが関東地方のテレビ「達人の道」で特集。佐賀や唐津と東京のつながり、唐津への想いにあふれている。
<https://youtu.be/SGret5spSm0?si=X4Q2279wPAdesRpK>
- (6) ぴ～ぷる放送60周年事業として、安心カメラ設置事業を展開。月額660円、先着600台とのこと。会社の強みを生かした周年事業となっている。
- (7) 唐津バイオマス発電所が営業運転を開始した。年間送電量3億5,000万kWh、一般家庭の約11万世帯の年間使用量の電気を生み出す。燃料は輸入木質ペレットやパームヤシ殻である。港湾機能の充実が求められる。従業員約35名。エネルギーで栄えてきた唐津にまた新しいエネルギー産業が誕生した。

